

馬琴伴  
國貞画

新編  
金瓶

梅  
八集

上快

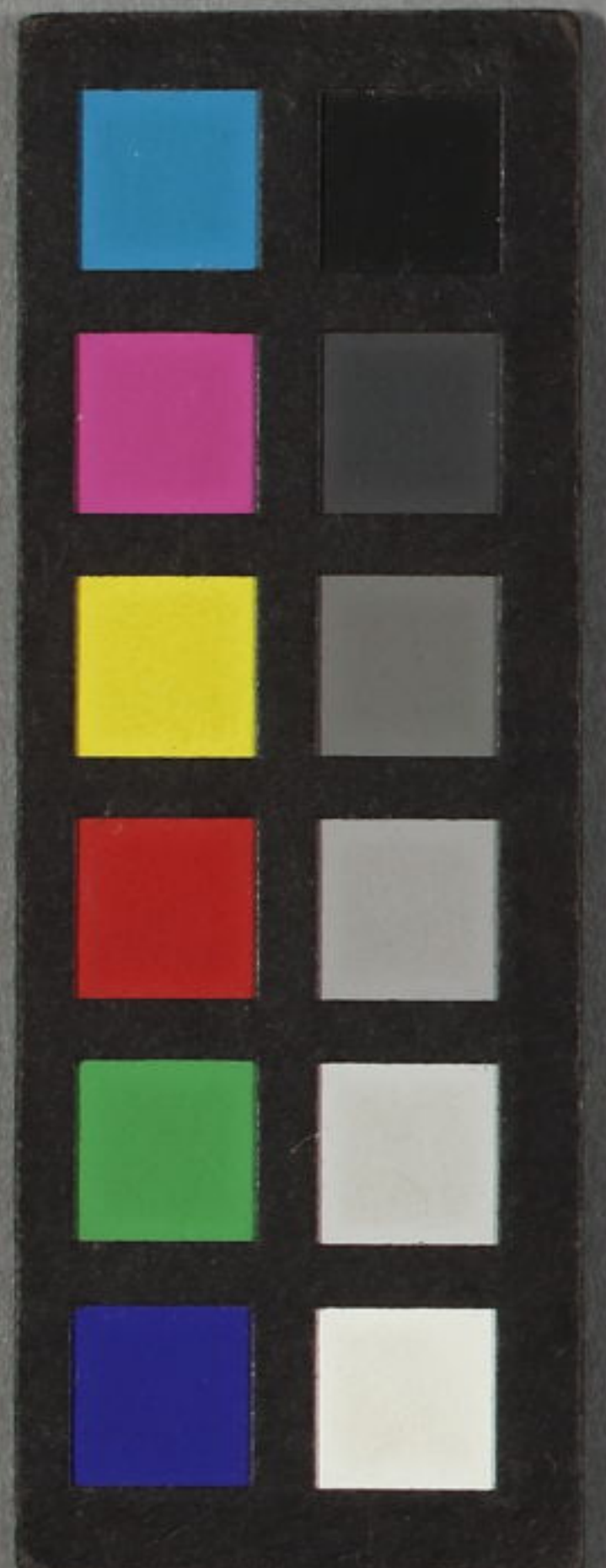


甘泉

堂

梓





馬琴作

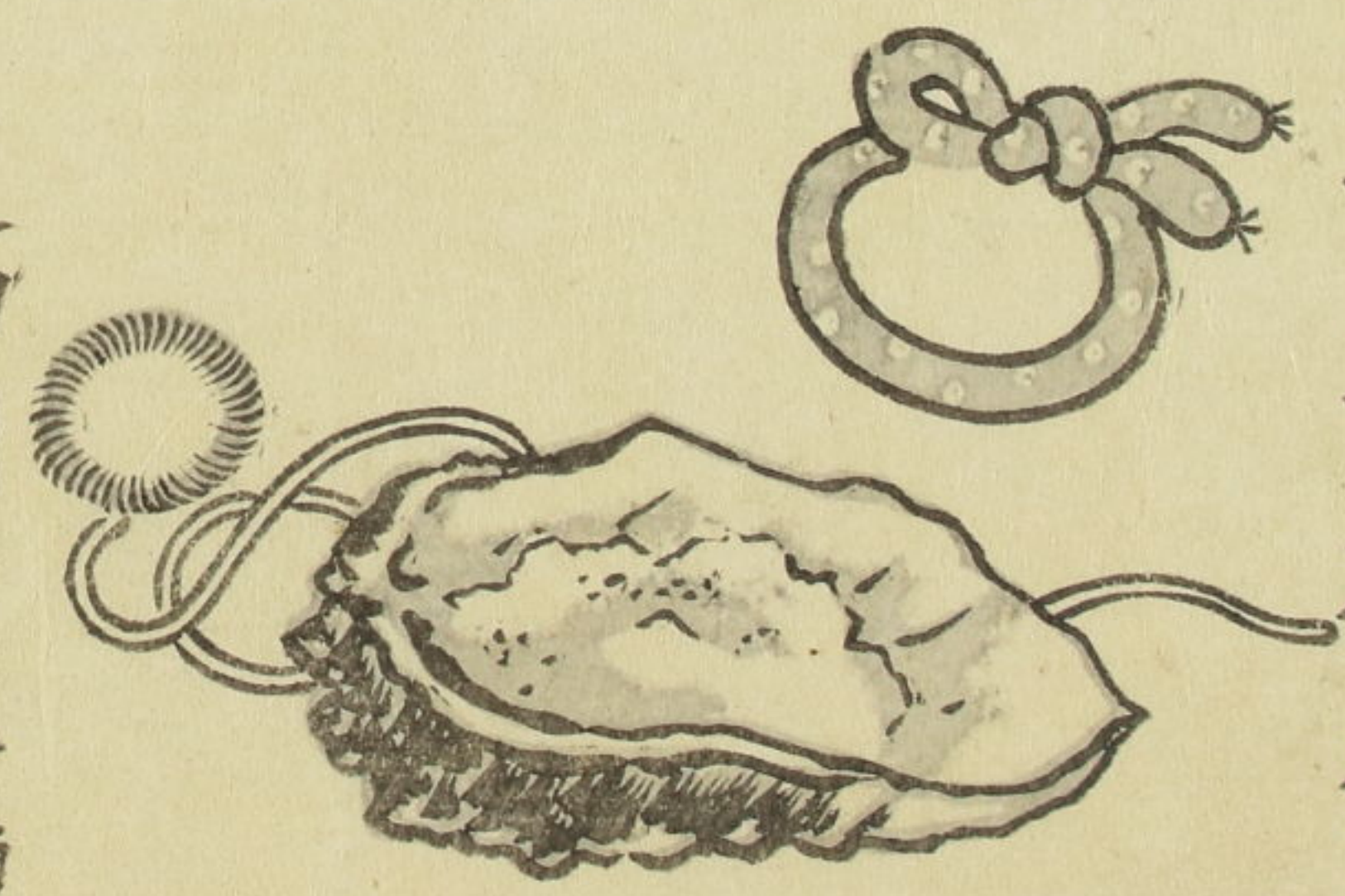
新編金瓶

梅第八集

之壹

國貞画

天保十有二年  
辛丑孟春發行



江戸芝神明前三嶋町  
甘泉堂和泉屋市兵衛

若夫人の賢不肖と善悪邪正を知らず欲す其毒と蜘蛛の糸を  
見く是と思ふおあくる一蓋登蜘蛛の糸と吐く蜘蛛の糸と吐く  
其吐く所の物異なるねども登蜘蛛の糸と吐く蜘蛛の糸と吐く  
羅錦綉の愛をたぬ物なれば製るるとはを其人も益あはるも  
繭と為るお及びてん則其卵と送せり便是身と殺して仁を為る  
者も庶り又蜘蛛の糸の所其糸とと細く作ると小虫を係て吐く  
然大度高樓の檐も竹垣に離色の垣るも久く掃せると死ん此が  
為汚されて其本色を失へり猶膳中お入ると死ん人を殺すの大毒あり  
忘れかたの策子お見りて武松琴柱の毒蜘蛛の糸と吐く蜘蛛の  
如き因果觀面の理りて這第八集お具へ何と小兒輩がてん欲く

天保十二年辛丑春正月吉日 曲亭馬琴識



金瓶梅第八集



春の獣  
第一

夜や  
あけん  
猫のきんぐ

信天翁



管領

高

好  
宗

金瓶梅第八集



春の獣  
第一

総角  
竹  
春の駒

頼鳥齋



新管領

好  
海雲

金瓶梅第八集



玉村 弾八 則高

夏の獸第四  
水と空を涼む  
茸鹿の晝寝哉  
蓑笠漁徳

魚の勇 守平



御首馬暴九郎 則武

夏の獸 第三  
犬伶俐  
蠅追ひなぬ  
川せり  
愚山人 園 完

加古の 塩七





やうき者いかに又つて...  
たのりんちやうき者いかに又つて...  
うき者いかに又つて...  
おんちやうき者いかに又つて...  
そのまゝいかに又つて...  
とくわきものいかに又つて...  
せむしものいかに又つて...  
あつちものいかに又つて...  
たつちものいかに又つて...  
るりちものいかに又つて...  
たりちものいかに又つて...  
ひたちものいかに又つて...  
いそちものいかに又つて...  
よきちものいかに又つて...  
ありちものいかに又つて...  
まぢちものいかに又つて...  
かぢちものいかに又つて...  
けぢちものいかに又つて...



そのまゝいかに又つて...  
とくわきものいかに又つて...  
せむしものいかに又つて...  
あつちものいかに又つて...  
たつちものいかに又つて...  
るりちものいかに又つて...  
たりちものいかに又つて...  
ひたちものいかに又つて...  
いそちものいかに又つて...  
よきちものいかに又つて...  
ありちものいかに又つて...  
まぢちものいかに又つて...  
かぢちものいかに又つて...  
けぢちものいかに又つて...



日のあけ...  
まゝ...  
よりの...  
あつち...  
たつち...  
るりち...  
たりち...  
ひたち...  
いそち...  
よきち...  
ありち...  
まぢち...  
かぢち...  
けぢち...

あつち...  
たつち...  
るりち...  
たりち...  
ひたち...  
いそち...  
よきち...  
ありち...  
まぢち...  
かぢち...  
けぢち...

みくまごめれがみるはまありて...  
あつち...  
たつち...  
るりち...  
たりち...  
ひたち...  
いそち...  
よきち...  
ありち...  
まぢち...  
かぢち...  
けぢち...







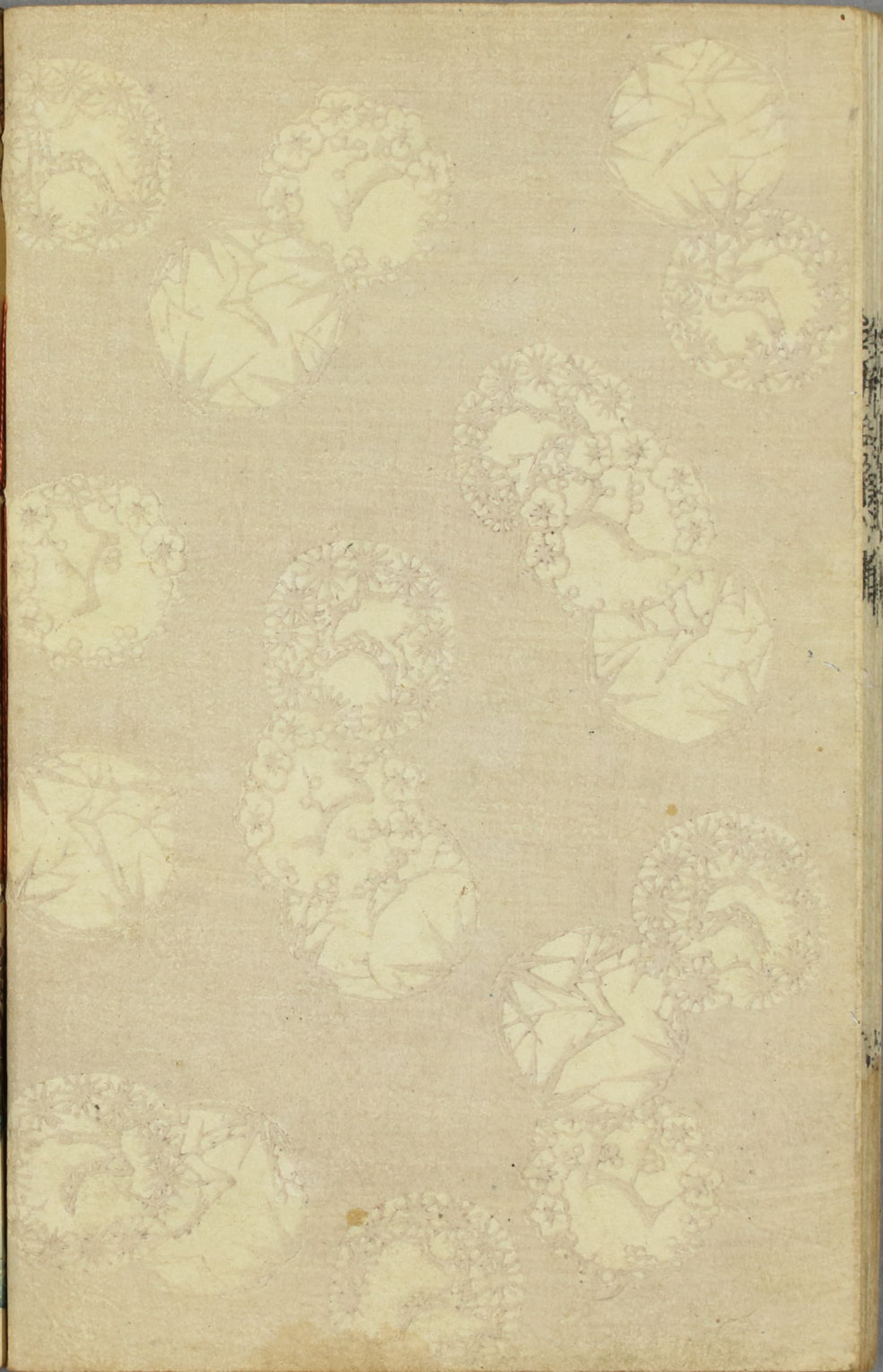






新編金瓶梅第八集

上  
下

















三つたんれとど...  
 かくて又...  
 八つ...  
 目...  
 且軍兵の...  
 千...  
 活...  
 四...



あり...  
 ち...  
 世の戦...  
 野...  
 四...









あつたの日は...  
 あつたの日は...  
 あつたの日は...  
 あつたの日は...



あつたの日は...  
 あつたの日は...  
 あつたの日は...  
 あつたの日は...

あつたの日は...  
 あつたの日は...  
 あつたの日は...  
 あつたの日は...



かの夜くらゝあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて  
 さうてひきあきまきげ中へ八かひあふひごまされて

家傳神女湯  
 精製奇應丸  
 熊胆黒丸  
 婦人三虫の妙薬  
 製茶茶本家  
 弘治元徳田中塔下南洲四方の白たは沢氏



馬琴作

此書は林佛傳抄原の先生の校訂を経て  
 天北の園とぬらひあつた人間の生男女の  
 相性年中の行ひを不図とあすのハ大ふあ  
 生つてのち七日用五益をたぐふゆゑなり

甘泉堂藏板略目

壽福二世相大鏡

此書は林佛傳抄原の先生の校訂を経て  
 天北の園とぬらひあつた人間の生男女の  
 相性年中の行ひを不図とあすのハ大ふあ  
 生つてのち七日用五益をたぐふゆゑなり

源氏繪歌笛多

極彩色

右の五十二枚の目録は、繪歌笛多の二枚の  
 一枚は、源氏繪歌笛多の二枚の  
 一枚は、源氏繪歌笛多の二枚の  
 一枚は、源氏繪歌笛多の二枚の  
 一枚は、源氏繪歌笛多の二枚の

雛形百人一首

小本一冊

源氏三かき

箱入

江戸書肆地本問屋

芝神明前三嶋町

和泉屋市兵衛

江戸菓子話船橋

初編 出来

中巻は、船橋屋が製菓方の千菓子と  
 更なる、船橋屋の菓子と、船橋屋の菓子  
 製菓の、船橋屋の菓子と、船橋屋の菓子  
 乃、船橋屋の菓子と、船橋屋の菓子  
 菓子、船橋屋の菓子と、船橋屋の菓子  
 を、船橋屋の菓子と、船橋屋の菓子  
 菓子、船橋屋の菓子と、船橋屋の菓子

特別

^13

4454

15